

福井県 PTA 連合会 特別委員会  
母と女性教職員の意見交換会「ママのしゃべり場」

日時 令和4年9月3日(土)

場所 福井県生活学習館 ユー・アイふくい 101・102

時間 1部 9:40~11:50 24名 2部 13:40~15:50 23名

来賓 福井県教育庁義務教育課 課長 三崎光昭氏、義務教育課 主任 高橋愛子氏

福井県 PTA 連合会 特別委員・広報委員長・総務委員長・事務局含む 参加者累計 47名

ジェンダーレスの時代ではあるが、他県に比べると女性の PTA 役員が少ないといわれる福井県。そこで、母親の目線からみえる子どもたちを取り巻く環境や PTA 活動に関する意見をすいあげ、会員相互の交流を図ることを目的に開催いたしました。

また、福井県教育庁義務教育課 課長 三崎光昭氏と義務教育課 主任 高橋愛子氏をお招きし、グループに入っていただき、会員と一緒にグループディスカッションに参加していただきました。

### 意見交換会で出た内容

#### 【役員への依頼の方法や、選出方法】

- ・女性への役員依頼するときの声かけ方法はどのような仕方があるのか？  
中学校の役員はわりと女性が多い。(参加が出来ないときは、仕方ないというスタンスで、おもしろくないことははっきり伝えてもらうようにしている)  
女性の会長が徐々に増えてくることによって、女性の役員も増えることが期待できて、とても良いことだと思う。  
学校行事には母親の参加がほとんどであるなら、PTA ボランティアも無理のない程度で参加していただけるはずであり、お誘いすることも大事ではないか。
- ・役員候補の選定にはいろんな方法があるが、それぞれの不安な部分はある。
- ・PTA の役を頼みに行くときのストレスが半端ない。
- ・PTA に報酬を払うのはどうか？
- ・結局同じ人が役員になっているのを見える。

#### 【活動内容や意見の集約方法】

- ・先生の負担を少しでも軽くとの思いで、PTA がお手伝いすることがあれば実施していることもある。
- ・先生方や保護者などの意見のすいあげはメールなどが多い。

#### 【広報紙】

- ・広報紙も WEB 上で発信している学校もある。
- ・広報紙を WEB 化したほうがいい。
- ・行事によっては女性の役員のほうがやりやすい面もあるのではないかな。
- ・学校行事と P T A 活動を一緒にすれば参加率もあがるが、先生方の負担が増えることも心配である。
- ・保護者と先生とのつながりも希薄になりつつあり、どんなコミュニケーションの取り方があるのか、課題である。
- ・コロナ禍で PTA 活動が例年通りできなかったことが、これを期に PTA をスリム化してはどうか？



### 【PTA 役員会への希望や役員になってよかったこと】

- ・ PTA の会議が夜のため、家のことも辛い。昼間の時間帯にしてほしい。
- ・ PTA に参加したことで、本当に子どもたちのために頑張っていることが解った。
- ・ PTA に参加したことで先生との距離が近くなり、相談しやすくなった。
- ・ PTA に参加したことで沢山の人と出会い良かった。
- ・ 女性が PTA に参加しやすくなるために、分かりやすいメリットが分かったほうがいい。
- ・ 親睦会は楽しいが、家庭の理解が難しい。
- ・ 役員を旦那と自分で半々でやることで、活動の理解を得られる。



### 【県 PTA に希望すること】

- ・ 子どもが不登校や障害があるとき、専門家に相談に行くのは当然ですが、同じ立場の人との情報共有ができる場を、県 PTA が作ってくれとありがたい。
- ・ スマートフォンのルールを決めた使い方。

### 【役員になったきっかけは？】

- ・ 投票。PTA 会員数が少なく、役員になる順番が回ってくることを覚悟して先に見越して副会長を引き受けた。声かけてもらって引き受けた。前年度に委員を引き受けて、翌年は副会長を引き受けることになった。

### 【部活の地域移行】

- ・ 生徒数が少なく、チームで協議するスポーツを選ぼうにも人数不足でチームが成り立たず選べない。土日の指導者の確保の心配。費用がかかった場合の集金や会場が学校ではなくなった時の移動手段の不安。

### 【学校規模適正化】

- ・ 部活だけでも近隣の中学校と一緒にできるようにしてほしい。
- ・ 学校が合併したとしても、使わなくなった学校の校舎は避難場所として確保してほしい。
- ・ 先生としてだと、児童生徒 1 クラス 20 名以上いたほうが環境としてよい傾向になる。
- ・ 通学距離が遠くなる場合が多いので、通学バスを市町などが負担してくれるのはありがたい。

### 【大規模の学校と小規模校の PTA の特徴】

- ・ 大規模・・・PTA 役員選出方法は、誰かが引き受けてくれるという感じが多い。
  - 夏休みの学校の奉仕作業は、掃除する場所を地区ごとに担当分けしているところもある。
  - 出席率は少ない
  - 役員選出には投票や知り合いからの依頼がある。
  - PTA 会長は男性が比較的多い。役員は女性が多い。
  - 役員は、地区の輪番からの選出がある。
- ・ 小規模校・・・奉仕作業の出席率は高い。会員の人数が少ないため、参加しないと欠席したことがばれやすい。
  - 役員選出には投票や知り合いからの依頼がある。
  - いろんなことに挑戦できるというメリットがある。

### 【コロナ禍により変化した PTA 活動】

- ・コロナ禍になり 3 年目の今年度は、行事開催についてはコロナ前に戻りつつある。
- ・資源回収…集めることを止めたが、代替え案として資源回収 WEEK を設けて、空き缶集めを開催。学校に回収箱あり。車で各ご家庭に伺っていたのをやめ、学校に持ってきてもらい、PTA 役員が受け取るドライブスルー方式。
- ・給食試食会…コロナ禍のため、中止。
- ・制服リサイクルは、欲しい人を応募性で募り、渡す。
- ・講習会…保護者も参加していたが、子どもだけの参加とした。
- ・奉仕作業…コロナ禍のため、役員のみで開催。



### 【PTA の意義】

- ・何のためにやるのか→子どものため
- ・コロナ禍で PTA 活動が減ったが、どの活動は開催するとか、やり方を考えるとか、または活動自体のあり方を考えることにつながった。

### 【今後の PTA が向かう未来は？】

- ・PTA 活動のスリム化こそ、未来の役員さん達の為になるのではないかと。
  - ①安全な学校生活（登校、下校など）の為に PTA 活動。
  - ②不登校の問題もこのようなお話しする機会があればよいのではないかと。
- ・地域特性のため、役員会が日中に行う学校もあり、女性 PTA 会長の学校もある。
- ・コロナ禍で親の横のつながりがなくなっているため、そのつながりを意識したセミナーなどがあれば良いのでは？

### 福井県教育庁義務教育課 課長 三崎光昭様からのご感想

感想としては、午前中の 1 部は楽しく参加させていただき、午後からの 2 部は学ばせていただいたと感じた。パワフルな役員が増えてきて、女性の躍進を目にすることができた。PTA ではネットワークの大切さが不可欠であることも感じた。

子どもたちは、不登校が増えているのが現状である理由としてはトラブルや無気力というのが増えてきている。子どもが孤立すると、親も孤立していってしまう。未然防止対策として、困ったことがあったときに悩みを話せる場を設けることが必要であるため、県教育委員会として県 PTA と連携していきたい。

また、養護教員にネット依存の研修を行い、支援する場＝教員への情報提供に取り組んでいる。

なお、コロナ禍のため、ある学校では、先生がコロナに感染したときの対応として、先生は自宅・生徒学校で遠隔授業を行うという共同的な学びを行うことにタブレットが利用されることもあった。個別的な学びだけではなく利用方法が取り入れられている。

## 参加者からのご感想

2部にご参加いただいた皆様にお聞きしました。(1部の皆様、お聞きしていません)

Q1. 意見交換会に参加してよかったですか？

よかった 12 ・ よくなかった 0 ・ どちらとも言えない 0

Q2. 意見を言えましたか？

言えた 12 ・ 言えなかった 0 ・ どちらとも言えない 0

Q3. 時間配分はいかがでしたか？

時間がたりなかった 0 ・ 時間はちょうどいい 11 ・ どちらとも言えない 1

Q4. 本日の意見交換会のご意見・ご要望をお聞かせください。

- ・ 他の市町の学校の話や、普段聞けない話を決めて、有意義な時間を過ごせた
- ・ このような機会をまた設けてほしい
- ・ 地域によって大きく異なるところもあり、面白いと感じた
- ・ 子供たちが生きやすい環境が作られるといいなと思った
- ・ 勉強になりよかった、話がしやすい場でよかった
- ・ 「母」となっているが、男性が入っていてもいいと思った
- ・ 不登校のご家庭が意見の言いやすい場があるとよいのでは
- ・ 講演会はハードルが高いので参加しやすいようにできるとよい
- ・ 子供たちのことでいろんな意見がきけてよかった
- ・ 参加したみなさん一人一人がしっかり話をして満足されていたように感じた



## 最後に・・・

福井県PTA連合会では、母と女性教員の意見交換会「ママのしゃべり場」を開催するにあたり、ご協力いただきました学校関係者、当日天候の悪い中にも関わらず県内各地からご参加いただきました皆様に御礼を申し上げます。

コロナ禍3年目になりコロナ対策を行っての開催となりました。ご参加いただいた皆様のご意見をお聞きして、福井県内のさまざまな地域の特徴を知り、同じ悩みを共感できたりして、この情報交換会が今後の活動のヒントや出会いの場になればいいなと思っています。

最後に、運営にあたりご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。